

第53回ペストコントロールフォーラム徳島大会報告

編集委員会

正式名称はねずみ・衛生害虫駆除研究協議会で、1966年(昭和41年)に厚生省主催により全国の市町村のそ族昆虫担当者の勉強会として始まっています。1980年(昭和55年)から日本PCO協会と日本環境衛生センターが主催者に加わり、省庁改変により現在は厚生省から、全国環境衛生・廃棄物関係課長会が主催者となっています。協議会の運営は(一財)日本環境衛生センターと地元のペストコントロール協会が担っています。開会式には飯泉嘉門徳島県知事、懇親会には遠藤彰良徳島市長がご挨拶し大会を盛り上げました。

開催日 平成31年2月14日(木)・15日(金)
会場 あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)
懇親会 JRホテルクレメント徳島

第1日目

特別講演Ⅰ 「侵略的外来アリとの戦い：生態、被害と防除」

東京大学農学部応用昆虫学研究室 講師 寺山 守

特別講演Ⅱ 「ダニ媒介性感染症を考える」

医療法人新心会馬原医院 院長・馬原アカリ医学研究所 理事長 馬原文彦

講演 「地球温暖化・廃プラスチック海洋汚染と感染症対策」

(一財)日本環境衛生センター 理事長 南川秀樹

講演 「害虫・獣に対する地域対応」

(公社)日本ペストコントロール協会四国地区本部協会の取組み

四国地区本部 本部長 大須賀裕康

「One Health」への徳島県の取組み

徳島県危機管理部 消費者くらし安全局安全衛生課 課長 久米明徳

「徳島市におけるペストコントロール及び環境衛生向上に向けた取り組み事例」

徳島市市民環境部市民環境政策課 係長 阿部規祥

主事 横井 寛

第53回ペストコントロールフォーラム徳島大会報告

「トピック・調査報告」

「野外における防疫用殺虫剤の新用量によるヒトスジシマカ成虫に対する効果」

(一財)日本環境衛生センター環境生物・住環境部環境生物課 課長 皆川恵子

「野外での殺虫剤によるヒトスジシマカ成虫防除時の作業効率とそのコスト」

(一社)埼玉県ペストコントロール協会 副会長 村田 光

「2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける衛生動物のリスクアセスメントと対応について」

(公社)東京都ペストコントロール協会 副会長 元木 貢

「殺そ剤に関する近年の動向と課題」

ねずみ駆除協議会 長岡 慧

第2日目

シンポジウム 「蚊学のすすめーもっと知ろう 蚊の世界ー」

座長：長崎大学熱帯医学研究所客員教授・元WHOジュネーブ本部専門官 一盛和世

講 演 「蚊の生物学」

長崎大学名誉教授・マラリアノーモアジャパン 高木正洋

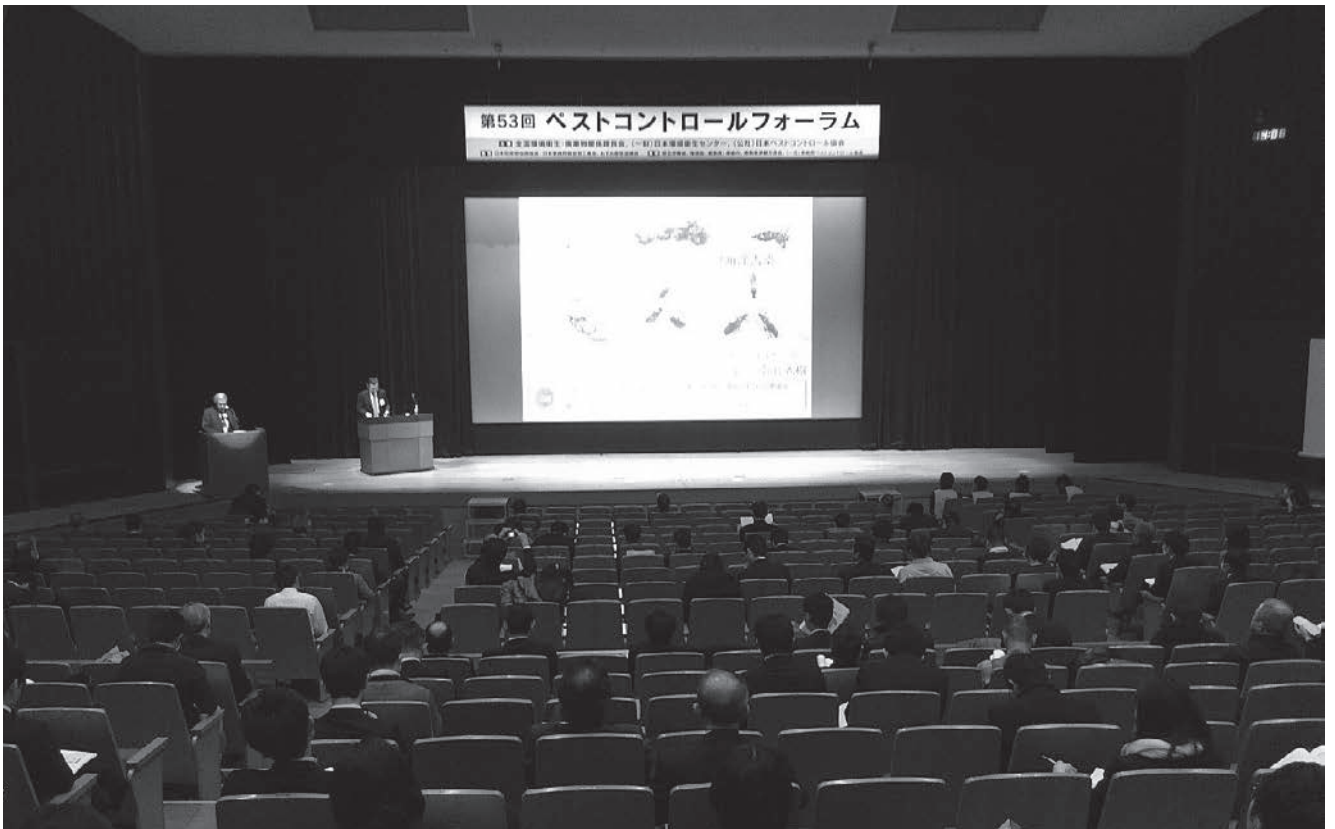
「蚊の対策」

長野県飯田保健福祉事務所所長・元自治医科大学教授 松岡裕之

「蚊が運ぶ病気の話」 一盛和世

落 語 「蚊相撲」 落語家 桂 歌助





遠藤彰良徳島市長のご挨拶と阿波踊り



山口健次郎(公社)日本ペストコントロール協会会長挨拶



懇親会風景

第53回ペストコントロールフォーラム徳島大会報告

